



2019年12月17日 (火)

## 消費増税による機器値上がり「保険点数などに反映を」 自民議連で眼科医会

2019年11月21日 21:49

自民党の「眼科医療政策推進議員連盟」（田村憲久会長）は21日の総会で、日本眼科医会から眼科診療の評価などに関して意見を聴取した。白根雅子会長は、眼科の検査機器は高額な一方で検査点数が低い状況を説明。その上で「機器や手術材料の消費税率上昇に伴う値上りを、直接保険点数に反映、または税制上の措置を講じていただきたい」と要望した。会合で田村会長は「検査機器が高額な中で、現状の点数でペイできているのか心配だ」と述べた。

このほか眼科医会は、医療費削減の観点から、視力矯正を目的とする眼鏡、コンタクトレンズ診療は自由診療にした方が良いとする議論に対して危惧も表明。自由診療になれば、コンタクトレンズ使用者が定期検査に来なくなり眼障害になる人が増加する懸念があるとして、保険診療の取り扱いを変えてはならないと主張した。

メディファクス 2019年11月21日掲載 [許諾番号20191219\_03]  
株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

All documents, images and photographs contained in this site belong to JIHO, Inc.  
Use of these documents, images and photographs is strictly prohibited.  
Copyright (C) JIHO, Inc.

株式会社じほう